認定 NPO 法人
富士山測候所を活用する会

事務局・広報委員会　担当　増田
電話：03-3265-8287　Email：npofuji3776@yahoo.co.jp

＜報道発表資料＞　　2017 年 7 月 10 日

富士山測候所を活用する会は、7 月 10 日に夏期観測 10 周年を迎えました

―2007 年から富士山測候所の利用を開始―

認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会は、2007 年 7 月 10 日に気象庁から富士山測候所を借用して観測利用を開始し、10 周年を迎えました。

2004 年に無人化された富士山測候所を多目的の研究観測拠点にしようと、研究者等が NPO 法人富士山測候所を立ち上げ、国有財産を民間が借りるための法改正も経て、2007 年から 3 年間、気象庁から庁舎を賃借する契約を結んで利用が始まりました。

初年度は、利用者延べ 210 人、9 事業でスタートしましたが、その成功を受けて利用は拡大を続け、この 10 年間の累計で利用者は 4000 人を超え、気象庁の指導、ブルなどの地元や山頂管理の登山家たちの協力も得て、無事故で運営することができました。

また、富士山測候所を維持運営管理するにあたって必要な資金については、会員からの会費、一般からの寄附金に加え、前半は JAMSTEC などの共同研究グループ、後半は三井物産環境基金を中心とする新技術振興渡辺記念会など各方面からの助成金に支えられてきました。

10 周年となる今年度の夏期観測は 7 月 1 日から 62 日間の日程で研究分野も 29 事業に拡大し、延べ 500 人の参加が見込まれています。新規プロジェクトが約 3 分の 1（9 件）を占め、当初からの課題となっていた越冬観測にチャレンジするプロジェクトが多いのも特徴です。年々劣化が激しくなるインフラを修理しながら今年度の観測を滞りなく完遂するとともに、来年以降も活動を継続できるよう、関係各位のさらなるご支援とご協力をお願いする次第です。

最初の年の測候所内の様子（2007 年 7 月 20 日撮影）

夏期観測 10 周年記念ロゴ